

課題名	Woven EndoBridge による血管内治療成績の検討
	(1) 新規に導入される医療 (2) 保険診療の対象とならない医療 (3) 患者に不利となる可能性のある医療 (4) その他 ○
研究責任者	福島大輔
概要	<p>Woven EndoBridge は分岐部のワイドネック動脈瘤内に留置し、閉塞させる新たなデバイスである。2020年12月に本邦で保険収載された。しかしながら使用可能な施設は限られており、症例数は少ない。2024年6月より当院が使用可能施設として登録された。未破裂および破裂動脈瘤に対して治療が可能であり、当院での治療成績を検討し、学会、論文等での発表を行う予定。本邦での使用は少ないが、保険収載されている標準的治療であり、患者個人を特定するような情報は匿名化する。研究で使用する旨は患者個人、および家族に説明し、ホームページ上でのオプトアウトも行う。</p>